

2021年12月2日

内閣府  
文部科学省  
理化学研究所

別添

## 国際シンポジウム「Quantum Innovation 2021」の開催について

このたび、「量子技術イノベーション戦略<sup>[1]</sup>」に基づき、内閣府、文部科学省、理化学研究所等の共催により国際シンポジウム「Quantum Innovation 2021」を開催いたします。

本シンポジウムは、世界から量子技術に関する産学官の関係者が一堂に会し、最新の量子技術や実用化動向に関する情報を発信・交換し、国際協力を推進することを目的としており、本年2月に発足した「量子技術イノベーション拠点<sup>[2]</sup>」が中心となって主催する初の国際シンポジウムです。量子技術を推進する米欧の政府関係者、大学等第一線の研究者や企業研究者といった産学官からの基調講演や3つの主要技術領域の平行セッション、若手研究者の研究発表を行います。

### 記

主 催：内閣府、文部科学省、理化学研究所、情報通信研究機構、量子科学技術研究開発機構、科学技術振興機構、産業技術総合研究所、大阪大学、東京工業大学

後 援：総務省(予定)、経済産業省、物質・材料研究機構、東京大学

シンポジウム組織委員長：量子技術イノベーション拠点 国際連携分科会 座長  
中村 泰信(なかむら やすのぶ)  
(理化学研究所 量子コンピュータ研究センター センター長)

日 時：2021年12月7日(火)

プレナリーセッション：10時00分～17時50分

2021年12月8日(水)

量子コンピュー外ラック：8時00分～18時30分

量子計測・センシングトラック<sup>※1</sup>：8時00分～21時10分

量子暗号・量子通信トラック<sup>※2</sup>：9時00分～24時30分

2021年12月9日(木)

量子コンピュー外ラック：8時00分～18時10分

量子計測・センシングトラック：9時20分～12時00分、17時00分～19時40分

量子暗号・量子通信トラック<sup>※2</sup>：21時00分～24時30分

※1 8日は第4回量子計測・センシング国際フォーラムとのジョイントセッションです。

※2 一部セッションは内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)による発表です。

場 所：オンライン配信(接続先については参加登録者に送信)

言 語：英語(同時通訳はございません)

次 第：

プレナリーセッション(12月7日10時00分～17時50分)

1. オープニング

- ・主催者挨拶 シンポジウム組織委員長(理化学研究所)、内閣府、文部科学省
- ・来賓挨拶 自由民主党量子技術推進議員連盟 大野 敬太郎(おおの けいたろう)

## 2. プレナリートーク 登壇順

- ・米国大統領府科学技術政策局(OSTP)量子情報科学(QIS)副長官 Charles Tahan
- ・量子技術イノベーション会議 座長 五神 真(ごのかみ まこと)
- ・株式会社東芝 執行役上席常務 島田 太郎(しまだ たろう)
- ・慶應義塾 塾長 伊藤 公平(いとう こうへい)

## 3. キーノートスピーチ 登壇順

- ・カナダ・ウオータールー大学 量子コンピュータ研究所 准教授 Thomas Jennewein
- ・Google VP Engineering Hartmut Neven
- ・東京大学大学院工学系研究科 教授 香取 秀俊(かとり ひでとし)
- ・ドイツ・シュトゥットガルト大学 第3物理研究所 所長 Jörg Wrachtrup
- ・オランダ・デルフト工科大学 QuTech Principal Investigator Ronald Hanson

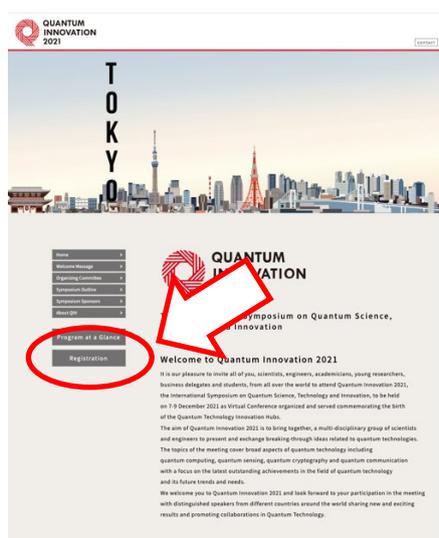
・2日目以降の各トラックの登壇者、講演タイトル等の詳細は、Quantum Innovation 2021 プログラムページをご参照ください。各発表要旨についても順次公開しております。

プログラムページ：<https://quantum-innovation.riken.jp/program.html>



### 備考:

- ・都合により、プログラムが変更される可能性があります。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、本シンポジウムはすべてオンライン配信にて行います。
- ・参加を希望される方は、国際シンポジウム「Quantum Innovation 2021」ウェブサイト内の Registration より登録をお願いいたします。定員になり次第、登録を締め切ります。



<https://quantum-innovation.riken.jp/>

- ・座長により、ウェブ視聴からの質問を受ける場合もございます。

## <補足説明>

### [1] 量子技術イノベーション戦略

我が国において「量子技術イノベーション」を明確に位置付けた上で、日本の強みを活かし、重点的な研究開発や産業化・事業化を促進することを目的として、令和2年1月21日に統合イノベーション戦略推進会議が最終報告を取りまとめた。本戦略の中で、量子コンピュータ・量子シミュレーションを含む量子技術イノベーションの重要領域が設定されるとともに、国内外から人や投資を呼び込む国際研究拠点としての「量子技術イノベーション拠点(国際ハブ)」形成・整備や、産業界が主体となって設立された出口指向な協議会による我が国産業の創出等を支援する総合的かつ戦略的取組を強力に推進している。

### [2] 量子技術イノベーション拠点

量子技術イノベーション拠点として、令和3年2月に理研を含む8つの研究開発拠点が発足し、活動を本格化させている。各拠点での研究開発の推進に加え、量子技術研究を担う実務者間の連携を目指し、拠点横断的な取組も行う。理研が拠点間連携の中核組織を担い、8拠点の協力の下で設置する「量子技術イノベーション拠点推進会議」において取組の具体化を図る。国際連携、知的財産管理・国際標準化、産学官連携、人材育成、研究支援等の課題や戦略の共有を行い、日本発の量子技術によるイノベーション創成にむけ、オールジャパン体制を構築する。

量子技術イノベーション拠点ウェブサイト：<https://qih.riken.jp/>

## <問い合わせ先>

<本シンポジウム、量子技術イノベーション拠点に関すること>

理化学研究所 量子コンピュータ研究センター 量子技術イノベーション拠点事務局

E-mail：[quantum\\_innovation2021\\_info@ml.riken.jp](mailto:quantum_innovation2021_info@ml.riken.jp)

## <機関窓口>

理化学研究所 広報室 報道担当

E-mail：[ex-press@riken.jp](mailto:ex-press@riken.jp)